

## 令和3年度 西蒲区社会福祉協議会 基本方針・重点目標

### 【基本方針】

我が国では、人口減少や少子高齢化が急速に進展するとともに、雇用形態、家族形態の変容や生活の多様化・価値観の変化により、単身世帯の増加、人間関係の希薄化など、急激な地域社会の変容によって、将来に不安を抱き生きづらさを抱えながら生活している方が多くなるなど、様々な課題が顕在化しています。

このような状況を踏まえ、新潟市社会福祉協議会の指標である「新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021」の具現化及び地域福祉推進プラン（仮称）を推進すると共に「第三期地域福祉活動計画」策定時、多くの方から寄せられた「次世代の人材育成」「地域の調整役となる人材育成」の声を受け、人材育成に取り組むとともに地域住民と協働しながら当該計画を推進するための様々な働きかけを行います。

また、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、これまでの日常生活の変化を余儀なくされた状況においても創意工夫を凝らして住民同士のつながりを断つことなく地域福祉活動を持続し、あらゆる方々が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるよう個別支援や地域づくりを推進します。

さらに、国際的には豊かで活力ある未来を創る「持続可能な開発目標(SDGs)」が示され、このSDGsの「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現は、新潟市社会福祉協議会がこれまで進めてきた歩みや「地域共生社会」の実現につながるものであり、SDGsの17の目標における取り組みを意識し、事業展開いたします。

### 【重点目標】

#### 1. 住民主体の支え合う社会の実現

地域福祉活動計画の実現に向け、地域に関わる多様な構成員と協働し取り組みを進めるとともに、地域共生社会の実現を進めます。

#### 2. 地域福祉活動の担い手育成

地域福祉の担い手となる人材の育成に向け、地域に関わる多様な構成員と協働して新たな取り組みを進めます。

#### 3. 地域の中で自分らしく暮らせる仕組みの構築

「社会的ひきこもり」や「8050問題」といった生きづらさを抱える方やその家族の問題に対し、他機関協働による課題解決のための取り組みをさらに進めます。